

都民の声は全国民の声、解散・総選挙で信を問え

中国各県からの支援 ご苦労様でした



7月2日投票の東京都議選は、17議席から19議席へ議席を増大させました。今度の選挙は、都民ファーストの会の誕生など難しい条件のもとでのたたかひでしたが、日本共産党は17議席から19議席に議席増を果たすことが出来ました。

一方、都民・国民の「安倍暴走政治許すな」の国民的な声を受けて、自民党は57議席から22議席へと歴史的な大敗を喫しました。(写真は7月3日朝、新宿駅前。古松健治氏のツイッターから)

中国ブロック各県は「心ひとつ」に支援活動に全力を挙げました。ご奮闘、ご苦労様でした。

多くの方が長期のオルグで奮闘しました。選挙本番を含め長期に奮闘した中の二人の感想を紹介します。

【広島・小浜一輝書記長】最終盤、有権者から「安倍政治にストップをかけてくれ」との熱い声が寄せられ、日本共産党への期待をビンビン感じた。最初の電話作戦で○の人が、危険防止活動では◎になっていた。

【岡山・古松健治勤務員】一丸となって2議席を目指していたのに、1議席で残念だ。岡山からの支援活動は「全国は心ひとつに」と東京の党員を元気づけたと思う。

山口県知事の艦載機移駐容認 直ちに撤回を！

岩国市長に続き山口県知事が6月30日、岩国基地への空母艦載機移駐容認を表明しました。

これに対して、山口県労連と県革新懇の主催で抗議集会が行われ、約60人が参加しました。(写真)

集会では、岩国市の「住民投票を力にする会」の松田一志代表(衆議院山口2区予定候補)が「市民の苦しみに寄り添うならば、受け入れられないはずだ」と抗議の訴えをしました。



大平議員 歴史的な国連総会に出席へ

7月29日に広島で報告集会

核兵器を違法化し、全面廃絶に進む画期的な条約である核兵器禁止条約の採択をめざす国連会議に、大平喜信衆議院議員が出席をします。

この国連会議には志位和夫委員長を団長に7人が出席する予定で、大平議員は「ヒロシマの心を届ける大切な任務」をもっての参加です。